

産業功労



あべ かつあき
阿部 勝昭さん

(葛 69歳)

農業の振興・農協経営に尽力

昭和52年から宮野目農業協同組合に入組。以来、農業振興と農協経営に努力を重ね、花巻農業協同組合常務理事を経て、平成29年から令和元年まで代表理事組合長、令和元年から令和2年まで会長理事を歴任。農業者の所得増大・農業生産の拡大のため、米の買い取りの複数年契約の実施、「銀河のしづく」のブランド化に尽力しました。

また、担い手経営体への総合的な事業提案や労働力確保対策を行い、准組合員を含めた地域住民の農業への参加促進に取り組むなど、長年にわたり地域農業の発展と産業の振興に寄与しました。

令和元年6月からはJA岩手県五連副会長に就任。県域全体の農業振興およびJAの健全経営の確保などに向け、強いリーダーシップを發揮しました。

産業功労



かとう つなお
故 加藤 索男さん

(石鳥谷町好地 享年88歳)

優れた技術と指導力で日本料理界を牽引

日本料理界を代表する優れた技術を有する、料亭「新亀家」の店主。国内でも数少ない儀式庖丁師範の資格を取得し、皇族のご成婚時にその技を披露するなど、宮内庁における重要な行事でも手腕を発揮しました。

平成9年には岩手県日本調理技能士会の初代会長、平成17年には岩手県調理師会会长、平成30年には日本調理師会会长に就任するなど、数多くの要職を歴任。県内外の調理師会組織の発展や後進の育成に尽力しました。

さらに、自身の料理本の出版、テレビなどメディアを通して料理指導や食育、食文化についての普及・啓発活動を幅広く行うなど、長年にわたり調理師の養成並びに食を通じた産業の振興に寄与しました。

民生安定功劳



みい のぶよし
三井 信義さん

(石鳥谷町中寺林 71歳)

障がい者の福祉向上・創作活動を推進

平成2年に社会福祉法人光林会常務理事に就任。同法人が運営する「ルンビニー苑」の施設苑長を経て、平成24年には同法人の理事長に就任。各種障がい福祉施設を運営し、障がい者の福祉向上に貢献しました。

平成19年には「るんびにい美術館」を建設。障がい者のアート創作活動を積極的に推進しました。その活動が評価され、同美術館は令和3年度に障害者の生涯学習支援活動に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。

平成23年には花巻市地域自立支援協議会会长に就任し、障がい者が地域で自立した生活を送ることができるよう尽力。障がい者への理解と愛情に満ちた活動を展開し、長年にわたり市勢の発展と市民福祉の向上に寄与しました。

令和6年度 市勢功労者表彰

11月3日、本市の最高権威の表彰である市勢功労者の表彰式を花巻温泉ホテル紅葉館で開催しました。市勢の発展に大きく貢献したことにより表彰された、5人の皆さんを紹介します。

【問い合わせ】本館総務課(☎41-3507)



地方自治功劳



ちかむら はるお
近村 晴男さん

(大迫町大迫 70歳)

大迫町議会議員・花巻市議会議員として尽力

平成11年4月に大迫町議会議員として初当選して以来、大迫町議会議員を6年1ヶ月、花巻市議会議員を16年7ヶ月務めました。

新市発足後は、総務、文教、福祉の各常任委員会委員を務め、総務常任委員会および産業建設常任委員会では委員長を務めたほか、岩手労災・県立大迫病院対策、議会改革検討、議員定数検討、議員発言調査、議会議員定数および議員報酬調査検討、広報広聴、新花巻図書館整備の各特別委員会に所属。市の基盤整備促進や議会体制の構築に尽力するとともに、議会運営委員会副委員長を務め、市議会内の連絡調整や円滑な議会運営に努めました。

地方自治功劳



おおはら たけし
故 大原 健さん

(下小舟渡 享年66歳)

市の基盤整備促進や議会体制の構築に尽力

平成15年4月に花巻市議会議員として初当選して以来、連続7期21年1ヶ月にわたり市議会議員を務めました。

議員在任中は、総務、文教、福祉、産業建設の各常任委員会委員を務め、総務常任委員会と文教常任委員会では委員長、産業経済常任委員会では副委員長を務めたほか、花巻空港対策、議会改革検討、議員発言調査、議会議員定数および議員報酬調査検討、新花巻図書館整備などの各特別委員会に所属。市の基盤整備促進や議会体制の構築に尽力するとともに、議会運営委員会委員を8年6ヶ月務め、市議会内の連絡調整や円滑な議会運営に努めました。